

# 混合物（製品）に対するGHS分類並びにラベル作成の支援に関するシステムにつつまして

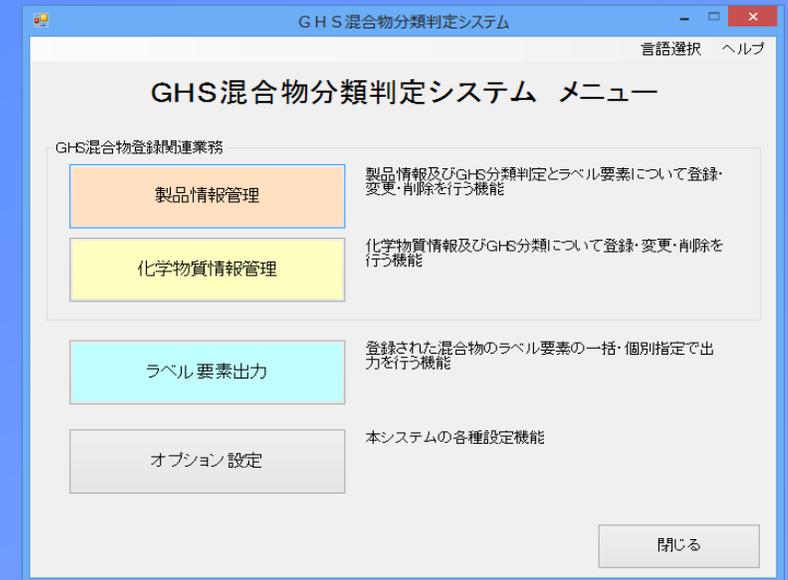
2021年4月

製品評価技術基盤機構化学物質管理センター

背景：混合物（製品）に対するGHS分類並びにラベル作成を支援するために、経済産業省は平成25年度、パソコンにインストールして利用する形のGHS混合物分類判定システムを開発しました。しかしながら普及に課題がありました。

## インストール版の課題：

- ・ユーザーPCにダウンロードし実行しなければならない。  
→要インストール
- ・毎年度、追加/更新される「政府によるGHS分類結果」を自分でインストールしないといけない。  
→要アップデート
- ・PCを交換する際にもインストールし直さないといけない等  
→要PC移行作業



GHS混合物分類判定システム（METI/経済産業省）

そこで利便性を向上させたシステムを  
この度NITEからリリースいたしました  
→次のページ

# GHS分類・ラベル作成 支援ツール



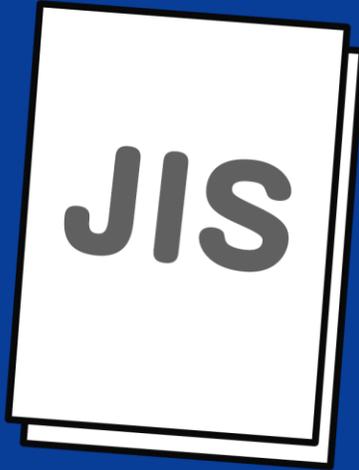
2021年4月  
GHS混合物分類判定システムの  
Webツール NITE-Gmiccs  
が登場！！

## 特徴

- ・インストール**不要**
- ・アップデート**不要**
- ・PC移行作業**不要**

3つの**不要**でああなたのGHS分類・ラベル作成をお助けします

Gmiccsでは2つのGHS分類判定方法が選択できます



JIS

日本産業規格（JIS）※1にて採用されている  
濃度限界/カットオフ値、危険有害性項目の  
区分に基づき分類

**国内向け**



UN

国連GHS文書（改訂6版）※2にて採用されている  
濃度限界/カットオフ値、危険有害性項目の区分に  
基づき分類

**海外向け**

※1 JIS Z 7252「GHSに基づく化学品の分類方法」

※2 海外では採用されているGHS国連文書の改訂版が異なる場合があります。ご注意ください。

## 基礎データとして約3000の純物質のGHS情報をGmiccsへ収載

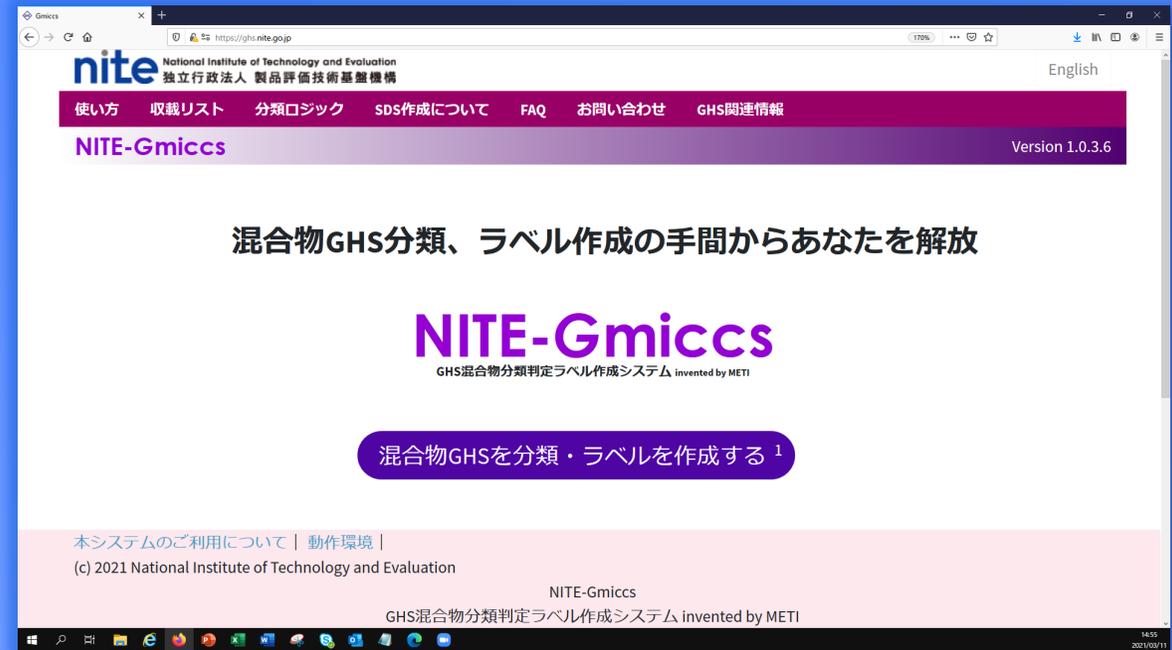
「政府によるGHS分類結果」



nite

SDS・ラベルの作成支援のために政府がGHS分類を実施  
**約3,000物質**

分類結果をNITEが整理・統合



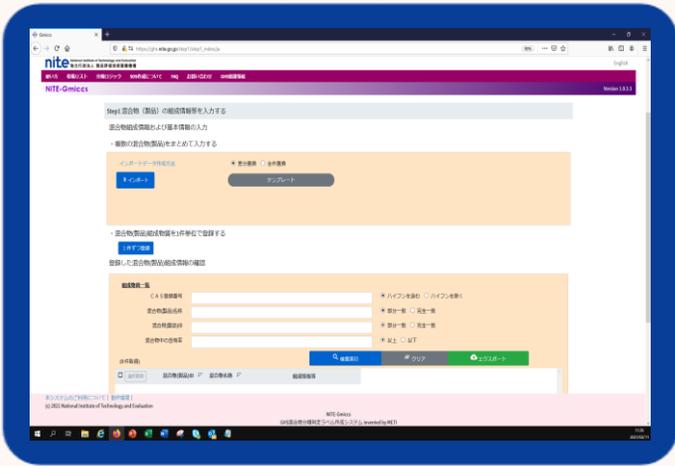
混合物（製品）に含まれる純物質※1を選択し、含有率を入力すれば危険有害性の分類を判定※2します

※1 純物質のデータがない場合はユーザーで準備・投入する必要があります。

※2 物理化学的危険性については一部のみの分類のため、必ずユーザー側で確認してください。

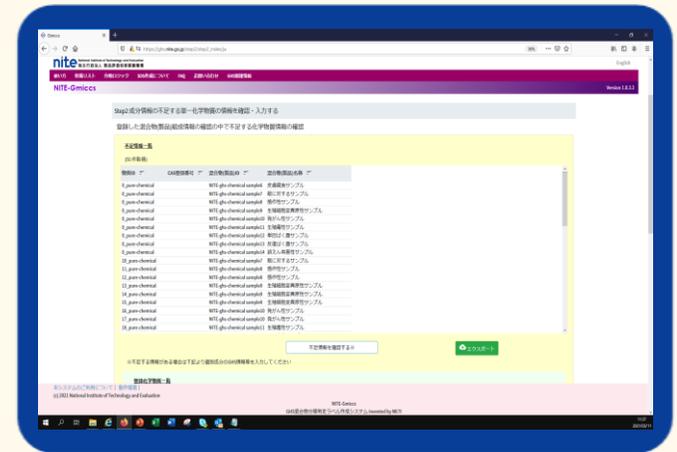
**1** 混合物（製品）の組成情報などを入力  
手入力 or エクセルフォーマット(CSV)でまとめてアップロード

CSVファイル

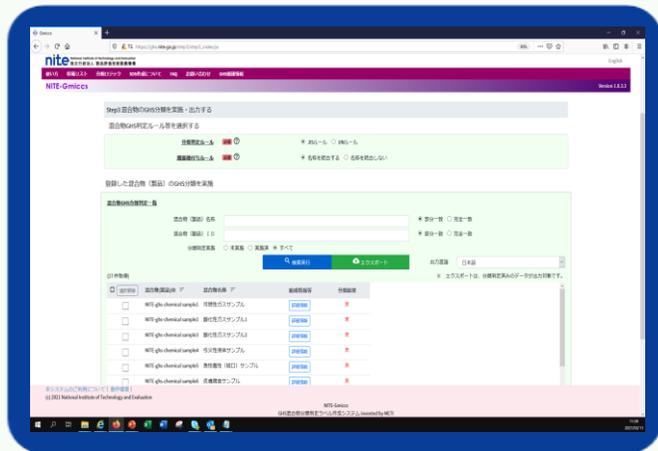


**2** 純物質のGHS分類情報などを入力  
手入力 or エクセルフォーマット(CSV)でまとめてアップロード

CSVファイル



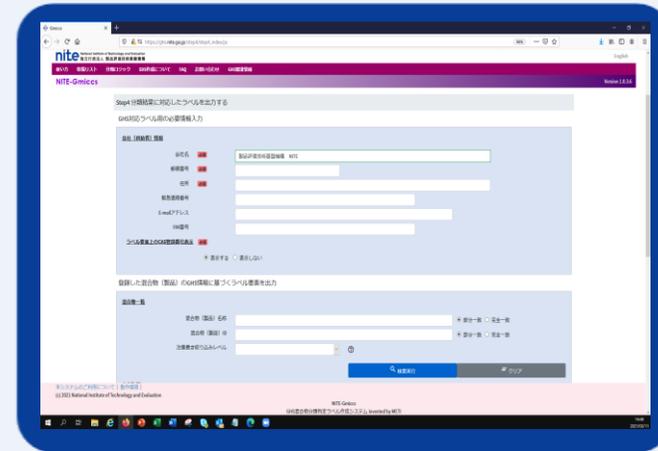
**3** 分類判定ルールを選択すると  
自動的にGHS分類されるのを待つだけ！



GHS分類結果



**4** 会社情報を入力するとGHS対応のラベルを出力できます



GHSラベル



法律※で求められるGHSに対応したSDS作成・ラベル表示に活用できます



## 化管法

- ◆ SDSの提供義務
- ◆ ラベルの表示努力義務

## 安衛法

- ◆ SDSの提供義務
- ◆ ラベルの表示義務

## 毒劇法

- ◆ 名称、含量、製造業者の情報等の表示義務
- ◆ 性状・取扱いに関する情報等の提供義務

※ 各法律で求められる義務の詳細については必ず所管省庁から公表される情報をご確認ください。